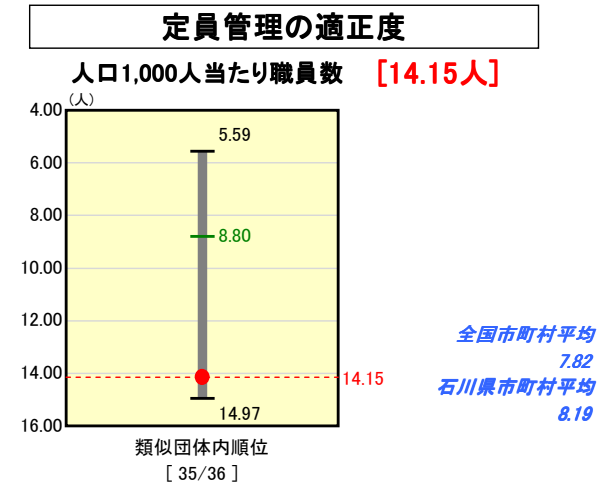
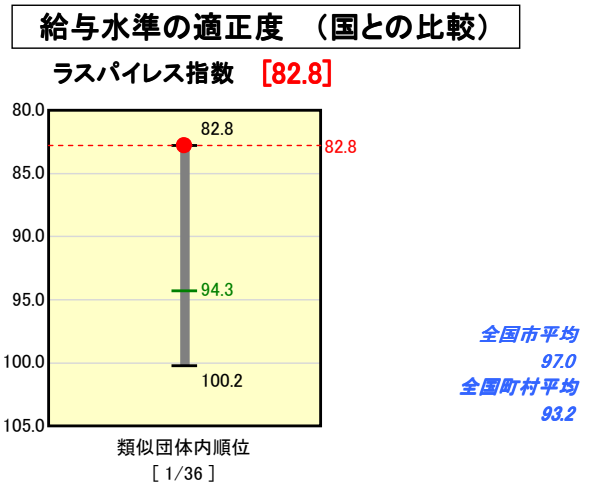
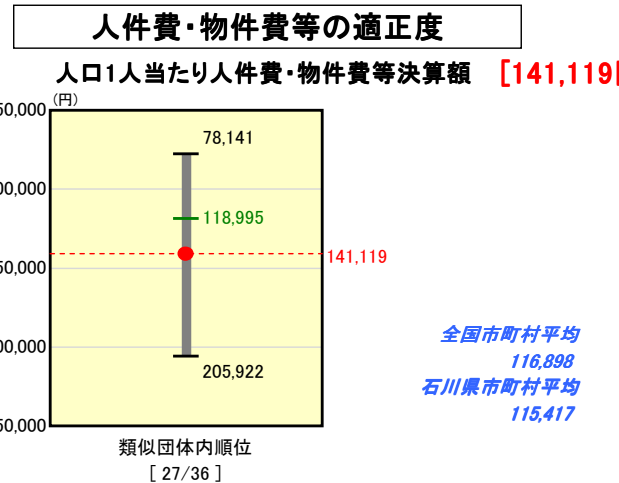
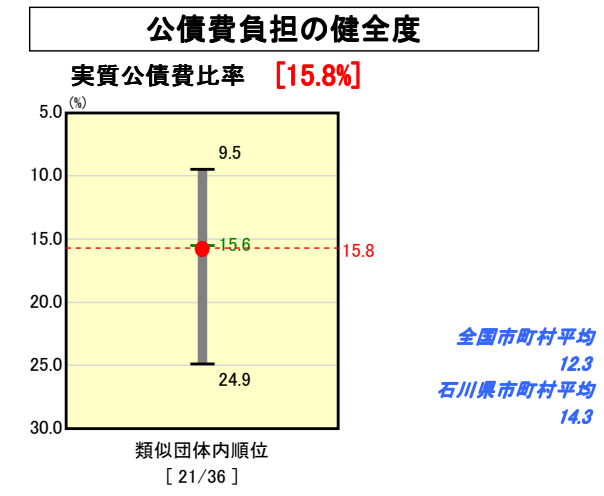
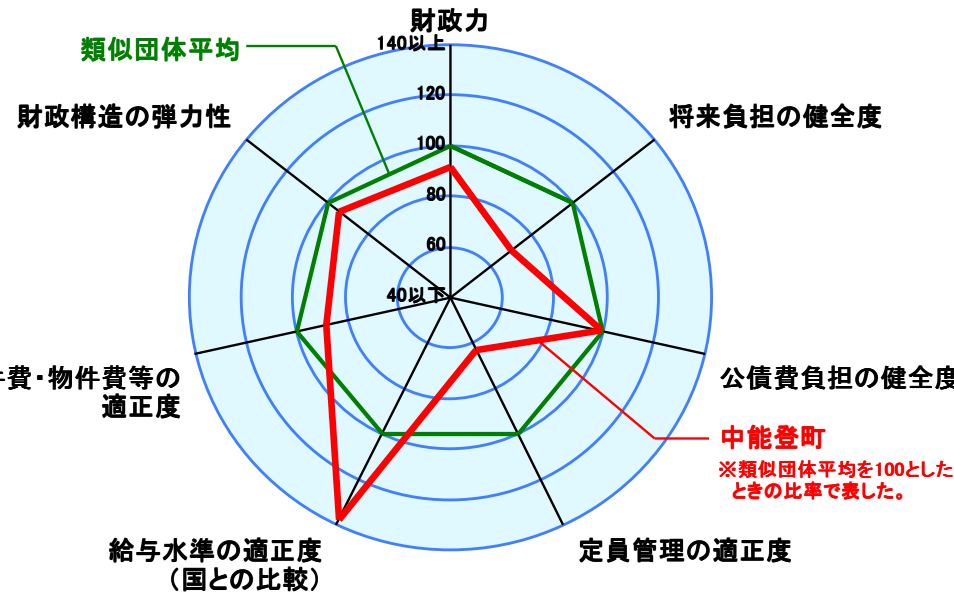
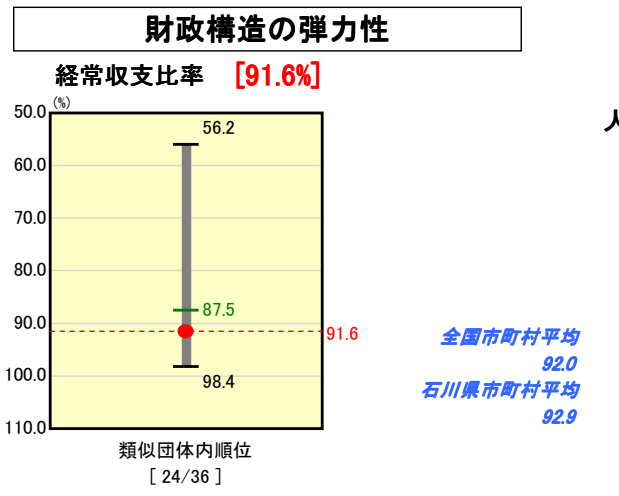
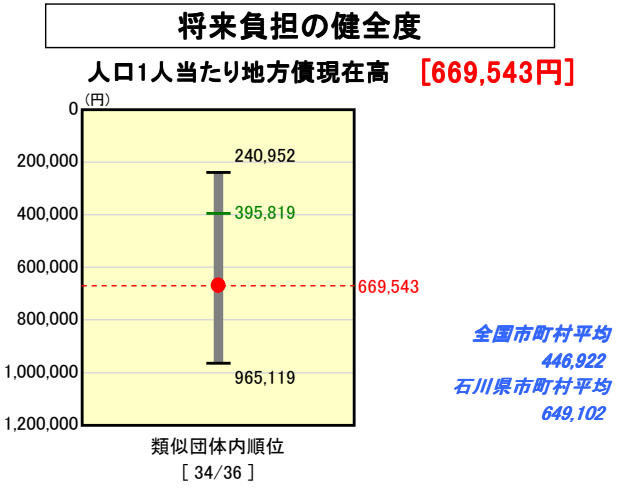
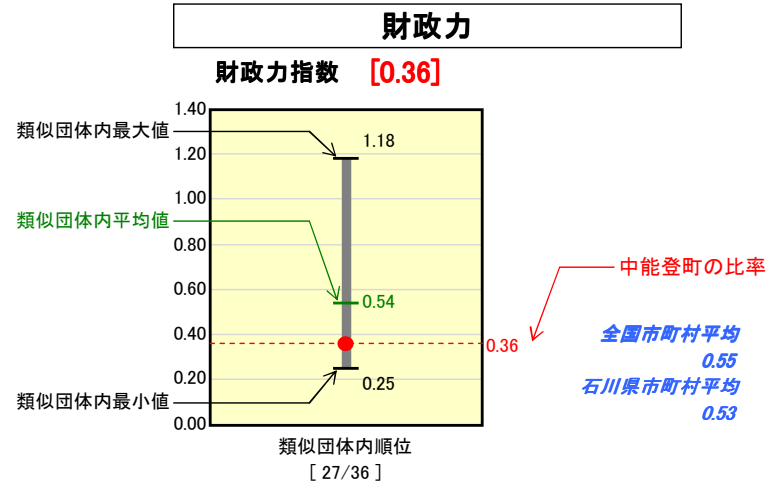


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

石川県 中能登町

人口	19,785 人(H20.3.31現在)
面積	89.36 km ²
歳入総額	9,436,568 千円
歳出総額	9,335,473 千円
実質収支	18,444 千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数:
人口減少や基幹産業である繊維産業の不振等により、財政基盤が弱く類似団体平均をかなり下回っている。平成17年3月1日合併により中能登町となったが、今後は活力あるまちづくりを展開しつつ、行政の効率化に努めることにより、財政の健全化を図る。

経常収支比率:
前年よりも減少しているが、今後も事務事業の見直しを進めるとともに、すべての事務事業の優先度を厳しく点検し、優先度の低い事務事業について必要性、有効性、事業効果を点検し、計画的に廃止・縮小を進め、経常経費の削減を図る。

ラスパイレス指数:
類似団体の中では最低水準ではあるが、今後も一層の給与の適正化に努める。

実質公債費比率:
類似団体平均を若干上回っており、大型事業の償還があるため今後も上昇していくが、新規地方債の借入に際しては財源措置の高いものの借入に努め、財政の健全化を図る。

人口一人当たり地方債現在高:
類似団体平均を上回っている主要な要因としては、合併特例債によるケーブルテレビ整備事業や合併まちづくり基金積立等であるが、新規地方債の発行の抑制により、類似団体平均の水準となるよう努める。

人口1,000人当たり職員数:
合併により類似団体平均より職員数は多いが、今後は退職者の不補充等により適切な定員管理に努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額:
類似団体平均と比較して、人件費・物件費等の適正度が高くなっている要因として、合併により職員数と類似の施設数が多く、今後は退職者の不補充と、施設の統廃合、指定管理者制度の導入などを進めて経費の抑制に努める。